

know (≠No) More Cancer

11th

Breast cancer Experienced Coordinator

Breast cancer
Experienced
Coordinator
BEC

乳がん体験者コーディネーター
養成講座第11期生募集要綱・実施要綱

2015年7月9日(木) 開講

申込期間：2015年5月7日(木)～10月31日(土)

受講期間：2015年7月9日(木)～11月30日(木)

プログラムアドバイザー

中村 清吾

昭和大学医学部 乳腺外科 教授

昭和大学病院 プレストセンター センター長

この講座を運営する団体

NPO法人キャンサーネットジャパンとは



キャンサーネットジャパンは、がん患者が本人の意思に基づき、治療に臨むことができるよう患者擁護の立場から、科学的根拠に基づくあらゆる情報発信サービスの提供を目指すことをミッション（使命）とし、がん体験者・家族・遺族、その支援者、そして医療者と共に、日本のがん医療を変え、がんになっても生きがいのある社会の実現をビジョンとし活動を続けてきました。

その理由は、がんと診断された患者・家族は、氾濫するがん医療情報の中、医療提供者と受益者間で情報の非対称性の大きいがん医療において、科学的根拠に基づく、正しい情報にたどり着く事が困難であり、医療提供者と受益者（患者・家族）の間に立ち、受益者擁護の立場から、情報発信する必要性があったからです。キャンサーネットジャパンは今後も、がん患者や家族、また医療にかかわるあらゆる人々へ情報を発信し続けてまいります。

NPO 法人キャンサーネットジャパン

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2F

TEL : 03-5840-6072 FAX : 03-5840-6073

問い合わせメール : cinbec@cancernet.jp

乳がん体験者コーディネーター 養成講座 総監修

目次



中村 清吾 先生

昭和大学医学部 乳腺外科 教授

昭和大学病院 プレストセンター センター長

1982 年千葉大学医学部卒業。同年より、聖路加国際病院外科勤務。1997 年 M.D. アンダーソン癌センター他にて研修、2003 年 5 月より、聖路加国際病院外科医長。2005 年 6 月より同プレストセンター長、乳腺外科部長。2010 年 6 月より昭和大学医学部乳腺外科教授、昭和大学病院プレストセンター長。日本乳癌学会乳腺専門医。国際的な標準治療の普及啓蒙、チーム医療の推進、日本を代表して活躍できる若手医療者の育成に力を注いでいる。

01. 講座概要	……3p
02. 受講期間	……3p
03. FAQ よくある質問	……3p
04. 受講者の声	……4p
05. 開講の背景	……6p
06. 開講の目的	……7p
07. 受講資格	……7p
08. 受講料（消費税込み）	……8p
09. 申込期間	……8p
10. 受講の手続き	……9p
11. 受講の方法（前期・後期共通）	……9p
12. 前期の講座内容	……9p
13. 前期修了試験	……10p
14. 後期講座の内容	……10p
15. 乳がん体験者コーディネーター認定までの流れ	……11p
16. 認定後の各種手続きと認定継続要件等	……11p
17. 認定後の活動について	……11p

01. 講座概要

インターネット環境があれば「いつでも」「どこでも」「最新のがん医療情報」を学べる eラーニング・システムを用いた講義です。「日本を代表する講師陣」による、全 20 科目（各 60 分）の講義視聴とレポート提出、修了試験から構成される【前期】と、前期で学習した知識を活用するための実践的少人数学習プログラムの【後期】で構成されます。前期・後期すべて修了した方が、キャンサーネットジャパン が認める「乳がん体験者コーディネーター」と認定されます。 ※前期の講座を受講し、修了試験に合格された方は「乳がん体験者コーディネーター養成講座修了生」となり、後期の受講資格があります。（前期修了のみでは、「認定」とはなりませんのでご注意ください）。

02. 受講期間

前期受講期間：2015 年 7 月 9 日（木）～ 2015 年 11 月 30 日（月）

後期受講期間：2016 年 1 月～ 3 月を予定

前期、後期ともに、カリキュラムにある各講義の web 公開日以降、受講期間内は何回でも視聴が可能です。この期間を過ぎますと視聴及び資料ダウンロードはできませんのでご注意ください。

03. FAQ よくある質問

Q1. 乳がん体験者コーディネーター養成講座とはどんな講座ですか？

2007 年 6 月に閣議決定された「がん対策基本計画」には、「今後は、基本計画に基づき、国及び地方公共団体、また、がん患者を含めた国民、医療従事者、医療保険者、学会、患者団体を含めた関係団体及びマスメディア等（以下「関係者等」という。）が一体となってがん対策に取り組み、がん患者を含めた国民が、進行・再発といった様々ながんの病態に応じて、安心・納得できるがん医療を受けられるようにするなど、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会の実現を目指すこととする。」と言及されています。異なる立場の方々が共同し、この目的を達成するためには、がんに対する一般的知識、その他がん医療情報に関する知識、及び最新の情報にアクセスするスキルは最低限の必要条件になります。この講座は、これら異なる立場の方々の中で、乳がん体験者の立場、乳がん患者支援者が、がん医療に関与するための「乳がん医療情報」に特化した養成講座になっています。

Q2. どのような方が受講されていますか？

2007 年 4 月に第 1 期を開講し、以降 10 期まで、様々な立場の 300 名を超える方々に受講頂きました。

- ・乳がん体験を持ち、今後がん医療への関与を希望する方々
- ・がん患者団体等でピア（体験者）の立場として患者相談などの活動をされている方々
- ・医療機関に勤務する医療者（看護師・薬剤師・ソーシャルワーカーなど）で乳がん体験を有する方々
- ・乳がん患者（乳がん体験者）を持つ家族・遺族で、今後がん医療に関りを持ちたいと考える方々
- ・製薬企業で営業・開発・教育研修を担当している方々
- ・医療、社会保障、科学等を担当するジャーナリストの方々

Q3. 認定者・修了者は、どのような形で活動されていますか？

受講生のほとんどは仕事を持ちながら、本養成講座を受講され、修了・認定後はご自身の仕事の中で、本プログラムで習得されたがん医療情報の基本的知識、最新の情報へのアクセスのスキル等を活用頂いております。今後は、Q1 の説明にもあるように、病院や公的機関だけでなく、民間企業等様々なところで、がん医療情報の基礎的知識を有する人材のニーズが高まると思われます。

04. 乳がん体験者コーディネーター養成講座受講者の声



山崎 多賀子（東京都）

美容ジャーナリスト
BEC 第3期認定者

乳がんを患い、右乳房全摘出、再建、抗がん剤、ホルモン療法と治療を続けてきた私が、乳がん体験者コーディネーターの勉強をしようと考えたのは、ある医師の言葉からでした。

「乳がんを体験したからといって、誰もが患者さんをサポートできるわけではありません。正しい情報を知識として幅広く身につけることで、初めて人の力になることができるのです」と。私は病気を雑誌や本で公表したことで、乳がんについて相談や質問を受ける機会が増えました。雑誌や本の執筆のために取材をしていたので、そこそこ知識があるつもりでしたが、その方の人生に関わることで、誤った情報を流すわけにはいきません。知識は力であり、私は力不足である、と感じていました。そしてその医師から、日本でもこんな講座があるんですよ。とこの講座を教えていただいたのが受講のきっかけになりました。

実際に講義を受けてみると、本などで得た情報を曲解していたり、なるほど、そういう意味だったのかと、ほんやりしていた知識がクリアになるとともに、以前に比べても迷いなく患者さんの心の不安に対応ができるようになったと思います。そして、何より、自分の病気を深く正しく知ることは自分のリハビリに大いに役立っていると思います。



森 由里子・小山 紀枝・
宗 綾子（埼玉県）

BEC 第6期認定者

本講座で出会った埼玉県在住の3人で【Cava！（サヴァ）さいたまBEC】を立ち上げ、「乳がん体験者が地元で気軽に笑顔で集まれる」をコンセプトに、様々なイベントを企画運営しています。

受講のきっかけは、「患者友達と話していて、正しい情報を知りたいと思った（小山）」「不確かな情報に惑わされず、確かな情報がどこにあるか知っていた（宗）」「治療中に励みとなった本の著者である山崎多賀子さんがBEC3期の認定者であった（森）」

受講時には自分に何ができるのかわかりませんでしたが、認定後に意気投合し、やりたいことを話し合い、先ずはおしゃべり会を始めました。その後、ヨガ・リコーダー・手芸など、活動はどんどん広がっています。

「継続は力なり」これからもコツコツと、正しい情報を提供し、乳がんになっても希望を持って生きていけるように、仲間と励まし合える場を提供していきたいと思っています。乳がんになったからこそ、BECを受講したからこそ、今の自分があるのだと思います。【Cava！さいたまBEC】<http://blog.goo.ne.jp/cava2011>



大友 明子（東京都）

BEC 第7期認定者

2010年12月、健康診断で乳がんが見つかりました。恐怖のどん底に突き落とされたあの日から4年、現在私は、同期である佐崎和子さんと二人で、「主治医に言うほどではないけど、なんかモヤモヤ～な方、集まりませんか？の会」を毎月開催しています。

BEC認定後1年が過ぎた時、BECで学んだことを生かし、また私自身のコーチングの知識を盛り込み、乳がん患者さんが同病の人たちと話して気持ちが楽になる空間を作ろう、そう決意し、麻布区民センターに部屋を借りました。2年間で、延べ300名の乳がんサバイバーの方にご参加いただきました。また、BECの先輩方のお力を借りて、コラボセミナーにも挑戦しました。BECの縦横のつながりは、私達の大事な宝物です。つらい闘病生活も経験しましたが、乳がんを通して得た新しい仲間や環境は、私の新しい人生を照らす確かな光となって、生きる力を与えてくれています。BECを通して皆さんも新しい生きがいを発見してみませんか？

【主治医に言うほどではないけど、なんかモヤモヤ～な方集まりませんか？の会】
facebook：<https://www.facebook.com/moyamoyanokai?fref=ts>



赤坂 友紀（神奈川県）

BEC 第 7 期認定者

乳がんを罹患したのは、住宅設計の仕事で多忙な生活を送っていた 29 歳の時でした。術後、歪んだ胸を見た時は眠れないほど泣き続け、化学療法の影響で閉経宣告された時には生きる気力さえ失いました。

しかし、どうしても子どもを授かりたかったため治療を開始。そして、同じ悩みを持つ人の力になりたいと思い、乳がん・婦人科がんの方のための医療下着会社に転職しました。そこでたくさんの患者さんに出会い悩みを聴き、乳がん治療に関わる医療者と意見を交わしたことで、乳がんという病気をもっと勉強して知識を深めたい、と BEC 養成講座受講を決意しました。

昨年、5 年半の不妊治療の末、待望の赤ちゃんを授かり出産しました。私を診てきた多くの産婦人科医が「子どもは望めない」と言い、不妊治療中も常に私のもとには誤った情報がたくさん届きました。そんな時、本講座を受講したことで得た「正しい情報を選び取る力」が役に立ち、惑わされることなく、諦めずに治療を続けることができました。そして今、我が子を抱ける幸せといのちの奇跡を感じながら、私の選択と決意は間違っていなかった、と思っています。



真水 美佳（東京都）

BEC 第 8 期認定者

2008 年、両側乳がんと診断され、何の知識もないまま右往左往し、ようやく右乳房の一次一期再建、乳房温存の手術を受けました。

術後 2 年後に乳房再建経験者の写真集『いのちの乳房』を出版し、CNJ のことを知り「乳房再建スモールミーティング」に参加させていただくようになりました。その時に思ったのは、「私は自分の経験したことしか知らない」ということでした。写真集を出版したことで、乳がんや乳房再建について質問を受ける機会も増えてきたのですが、よくわからないことが多いことに改めて気づかされました。本講座を受講したことで、わからなかったことや情報の発信の仕方などを学ぶことができ、その後の NPO 法人設立に大いに役立ちました。

現在は、「NPO 法人エンパワリング プレストキャンサー / E-BeC」として BEC 卒業生のみなさんにご協力をいただきながら「乳房再建全国キャラバン」を行っています。BEC 卒業生の心強いサポートがあるからこそ今の E-BeC の活動があります。BEC のネットワークは全国に広がっていますので、みなさんのご協力をいただきながらこれからも活動が続けて行きたいと思っています。

【NPO 法人エンパワリング プレストキャンサー / E-BeC】 <http://www.e-bec.com/>



長川原 恵（神奈川県）

BEC 第 10 期認定者

乳腺センターで医師のアシスタントの仕事をして 7 年。私の担当医師は、週に 300 名程の患者さんを受け持っています。先生を信頼して、遠方から来院される患者さんも少なくありません。

受講のきっかけは、乳がんについてもっと知りたいと思ったからです。レポート提出は大変でしたが、今まで身につけた知識の再確認ができ、科学的根拠に基づいた医療の大切さ、最新の薬剤情報・サイコオンコロジーなどしっかり学ぶよい機会となりました。

乳がんは経過の長い疾患です。医師との信頼関係は勿論、看護師やスタッフとしっかりコミュニケーションが取れるか重要なポイントです。私は乳がん体験者でないけれど、医師と一緒に診察室にいる私の役割は、患者さんの心の声を聴いて、患者と医療者をつなぐことだと思います。

乳腺センターに配属になった頃、毎週土曜日の朝、外来の待合室で 10 名程の患者さんが仲良く朝食をとっており、皆さんよく話し・よく笑い・時には真剣に乳がんに向き合っていました。そこには明るく温かい空間がありました。きっと、ミニ患者会が開かれていたのでしょう。現在、当院には残念ながら相談窓口や患者会はないため、皆と協力して患者会を作ることが今の目標です。

05. 開講の背景

(1) 日本におけるがん医療環境と現状

直近の統計では、日本におけるがん罹患全国推計値は 80 万 5,236 例（2010 年）、また死亡者数は 36 万 4,872 人（2013 年）となっており、今後も増加が予測されています。

一方、欧米、特に米国においては官民一体となった早期診断・早期治療の普及・啓発、臨床試験の普及・啓発・実施、それらから得られる標準的治療の普及により、死亡率に歯止めがかかり、乳がんなど特定のがん種においては、死亡率の低下を達成しています。

日本におけるこのような現状は、様々な要因に起因すると考えられますが、医療者向けのがん情報、国民・患者向けのがん情報を提供・共有するシステム構築の遅れが大きな要因の一つと考えられています。

(2) 近年のがん医療の変化

このような状況を鑑み、国家レベルの取り組みとしては、厚生労働省は国立がんセンターを中心とし、各都道府県にがん診療連携拠点病院の設置を進める他、2006 年 10 月には医療者向け、患者向けの「がん対策情報センター」を開設し、「がん対策推進」を図っています。また、2007 年 4 月からは、これらの問題解決を更に加速させる役割を持つ「がん対策基本法」も施行され、同年 6 月には「がん対策推進基本計画」も閣議決定され、2012 年には更に現状に即した改訂がなされました。

以上のような背景により成立した「がん対策基本法」の基本理念にもある「科学的知見に基づく適切ながんに係る医療を受けることができるようにすること」、「がん患者の置かれている状況に応じ、本人の意向を十分尊重してがんの治療方法等が選択されるようがん医療を提供する体制の整備がなされること」を広く実現するためには、医療提供側・医療者のみの変革だけでなく、同時に患者が医療消費者として、信頼性の高い情報にたどり着き、情報を理解し、患者が主体的に治療を選択できる環境の構築も必要となります。

(3) がん患者・家族・国民が置かれた環境

2006 年 10 月に「がん対策情報センター」が開設、日々情報が追加・更新され、適切な情報を届けるための環境整備は進み、がん関連学会編集による診療ガイドラインにおいては近年、学会等の努力により一般への公開が進む領域もありますが、その普及は十分とは言えません。

また、各関係団体の整備は進んできていますが、未だ認定がん治療専門医、専門看護師、薬剤師他は少ない上、患者・国民がアクセスできる相談窓口も、国家レベル・民間レベルにおいて整備が進められてはいるものの、認知・連携が不十分である場合も多く、適切なリソースそのものの不足とともに、適切なリソースへのガイド役、それをわかりやすく伝える役割の存在が不足しています。

加えて、急速なインターネットの普及により、がん患者・家族のアクセスが急増し、医療情報・がん医療情報の入手は容易になりましたが、専門知識なく一般的な検索ワードを検索エンジンに用い調べる場合、その検索結果数は数十万から数百万という膨大なものであり、それらの情報についての重み付け、信頼性の評価はほぼ不可能に近い状況とされています。

(4) がん患者・家族が直面する問題

がん患者・家族が「がん」と診断され直面する問題は、3 つに大別されます。一つは、自身の治療上の決定における医療情報、各種治療の自身への影響、すなわち効果・有害事象（副作用）など体への影響、「Physical な問題」、2 つ目は「がん」という診断に対する不安、治療の効果・有害事象（副作用）などに対する不安、生活・将来への不安などの「Mental な問題」、3 つ目として、高騰化する医療費に関わる経済的な問題の他、医療制度に関する問題、すなわち「Practical な問題」です。

(5) がん対策推進の取り組み

「がん対策基本計画」には、「今後は、基本計画に基づき、国及び地方公共団体、また、がん患者を含めた国民、医療従事者、医療保険者、学会、患者団体を含めた関係団体及びマスメディア等（以下「関係者等」という。）が一体となってがん対策に取り組み、がん患者を含めた国民が、進行・再発といった様々ながんの病態に応じて、安心・納得できるがん医療を受けられるようにするなど、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会」の実現を目指すこととする。」と言及されています。

すなわち、これまで行政、医療者主体で進められてきた「がん対策推進」に、がん患者を含めた国民他、様々な立場の団体・関係者が関与するよう求められているのです。このような背景を考慮すると、乳がんを体験し、克服した患者・家族は、様々な点において、今後発症する乳がん患者・家族にとって、有益な情報源・候補者となると思われます。実際に、米国を始め先進諸国においては、がんを克服した患者「Cancer Survivor：キャンサーサバイバー」と呼び、尊敬を集める存在となり、加えて乳がん早期診断と早期治療の啓発者として活躍しています。そこで 2007 年 4 月、NPO 法人キャンサーネットジャパンでは、患者・家族のニーズに応えるべく、民間レベルにおいて、信頼性の高い、科学的根拠に基づいた、その時々における良質で信頼性の高い乳がん医療情報を提供し、かつ、それらの乳がん特有の医療情報等を患者の言葉にし、伝えることのできる「認定乳がん体験者コーディネーター」の人材養成講座をスタートさせました。

06. 開講の目的

乳がんと診断され直面する問題（主として乳がん医療情報に関する問題）を、解決できる・あるいは解決に導く既存の信頼性の高い情報にアクセスし、提供できる能力を習得します。「認定乳がん体験者コーディネーター」は、乳がん医療情報（治療法他に関する情報）に特化したものとします。本養成講座により「認定乳がん体験者コーディネーター」を養成・輩出し、国が掲げる「がん対策推進」に寄与し、日本における民間組織（NPO 法人）の役割を果たし、これをもってがん医療へ貢献することとします。

なお、本講座は「こころのケア」「カウンセリング」のスキルを学ぶものではありません。CNJ のピアサポートに携わる上で必要と考える知識を学ぶことができますが、ピアサポーターの養成を、直接の目的としていません。

07. 受講資格

- ・主たる治療（手術・放射線療法・薬物療法など）を終了した乳がん体験者
- ・乳がん患者を持つ成人家族
- ・その他 NPO 法人キャンサーネットジャパンが認める者等^{注)}

^{注)}「認定乳がん体験者コーディネーター」に求められるものは、信頼性の高い乳がん情報にアクセスし、乳がん患者の立場に立ち情報を提供する能力であり、原則的に、受講者の資格・バックグラウンドは重要でないと考えており、志しあるその他の者についての門戸も開かれています。

- ・基本のパソコン操作ができ、資料のダウンロード、WORD を使用しての添付、送信ができるインターネット及び E-mail（携帯電話は不可）使用、E-mail による Word・PDF ファイル等添付送受信が可能な環境があり、代表的な検索エンジン（Yahoo・Google など）が使用でき、受講前に本養成講座の e ラーニング・システム^{注)}が利用可能で、以下のいずれかに該当する者とします。

なお、事務局からの事務連絡は原則として、すべて E-mail の一斉配信で行われます。但し、Gmail、Yahoo mail 等のフリーメールをご使用の方は、事務局からの連絡が迷惑メールフォルダ、ごみ箱等に振り分けられる事例があるためご留意下さい。

【必ずご確認ください！】^{注)} e ラーニング・システムが利用可能かどうかは、後記の URL で既にアップロードされているコンテンツが問題なく再生可能である事を必ず確認して下さい。

CNJ がん情報ビデオライブラリー <http://www.cancernet.jp/video/>

※本養成講座では、受講者に対する個別のパソコン環境、動作環境に関する問い合わせには対応できませんので、上記の通り、受講前に必ずコンテンツが再生可能であるかどうかの確認をして下さい。以下は受講に必要なパソコン環境の情報です。

■ OS /

【Windows の場合】 2008 (デスクトップ エクスプレスが必須), Windows 7, Windows Vista, Windows XP, Windows 2003, Windows 8
【Macintosh の場合】 Mac OS X 10.5.7 以降

■ ソフトウェア /

【Windows の場合】 Internet Explorer® 7.0 以降, Firefox® 3.6 以降
Windows Media® Player 9.0 以降
【Macintosh の場合】 Safari™ 5 以降, Firefox 3.6 以降

※ Macintosh の場合 Microsoft Silverlight5 が必要です。マイクロソフトの Silverlight をインストールする必要があります。マイクロソフトのサイトからダウンロードするか、以下のキャンサーネットジャパンの URL (<http://www.cancernet.jp/video/>) よりインストールして下さい。

■ スマートフォン・タブレット /

【iPhone/iPad の場合】 iPad 全機種 (iOS 4.3 以降、Safari 使用)
iPhone 4 以降, iPod Touch 第 4 世代以降
(iOS 4.3 以降、Safari 使用)

※ App Store から Mediasite アプリをダウンロードする必要があります (無料)。
また、3G 回線をお使いの場合は、アプリ内設定画面から DATA ACCESS を ON にしてからお使いください。

【Android の場合】 Android 4.0 以降 (Android browser 使用)



08. 受講料 (消費税込み)

	割引申込期間 (2015年7月31日まで)	通常申込期間 (2015年10月31日まで)	BEC2 回目以降・CIN 既受講者
前期受講料	¥80,000-	¥90,000-	¥30,000-

但し、5 名以上での受講申し込みの場合は、受講料の優遇制度を適応いたします。必ずお申込み前に NPO 法人キャンサーネットジャパンまで、メールにてお問い合わせください。(メールアドレス: cinbec@cancernet.jp)

【BEC/CIN1 期～10 期既受講生に対する受講料割引】

既に、BEC/CIN 養成講座の 1 期～10 期を受講された方々に対する受講料割引制度です。各領域における最新情報のキャッチ・アップにご利用下さい。また、本講座を受講された方は、BEC/CIN 認定継続要件 (15 ポイント) を満たすものとします。但し CIN の 6・7 期は総合コース既受講生のみが対象です。

後期受講料	¥50,000- (登録料、登録管理料 3 年分含む) ※後期講座は、前期講座を修了した方のみがお申し込み可能です
-------	--

09. 申込期間

2015 年 5 月 7 日 (木) ～ 10 月 31 日 (土)

前項の通り、割引申込期間 (2015 年 7 月 31 日まで) と、通常申込期間 (2015 年 8 月 1 日～10 月 31 日まで) は、受講料が異なりますので、ご注意下さい。

10. 受講の手続き

- | | |
|-------------------------|---|
| (1) 申し込み方法 | 前項 9. の申し込み期間内に、キャンサーネットジャパンのホームページよりお申し込み下さい。 http://www.cancernet.jp/training/bec |
| (2) 受講申し込み受付と
受講料支払い | 「申込フォーム」に必要事項をご記入のうえ送信ください。お支払いはクレジットカード決済と銀行振込よりお選びいただけます。申込フォームへ記入されたメールアドレス宛に、手続き案内メールをお送りいたします。なお、数日経過してもメールが届かない場合は、お手数ですがお問い合わせ下さい。 |
| (3) ID、パスワードの
発行 | ご入金確認後、e ラーニング・システムを受講頂くための「受講 ID」と「パスワード」を、メールにてご連絡いたします。なおシステム上、入金確認に数日かかる場合がございますのでご了承下さい。 |
| (4) 受講開始 | 後述の受講方法に基づき、受講を開始して下さい。 |

11. 受講の方法（前期・後期共通）

- | | |
|-------------------------------|--|
| (1) 受講環境の準備 | パソコンをインターネットに接続し、以下の URL にアクセスして下さい。
http://www.cancernet.jp/training/bec |
| (2) 「BEC 受講生専用
視聴ページ」をクリック | http://www.cancernet.jp/training/bec の画面上に表示される「BEC 受講生専用視聴ページ」のバナーをクリックして下さい。受講ログイン画面へ進みます。ログイン画面では、「ユーザー名」と「パスワード」が求められます。「ユーザー名」には、事前にお知らせする「受講者アカウント」を、「パスワード」には「受講者パスワード」を入力します。「ユーザー名」、「パスワード」を入力完了後、「ログインボタン」をクリックして下さい。講義視聴画面が表示されます。 |
| (3) 講義資料（PDF）の
ダウンロード |  <p>①はじめに講義視聴画面の各講義の「Links」をクリックして講義資料のタイトルを表示させて下さい。</p> <p>②講義資料のタイトルをクリックすると「ユーザー名」と「パスワード」の入力画面が表示されます。</p> <p>③講義資料のタイトル下（または横）に記載されている講義資料ダウンロード用の「ユーザー名」と「パスワード」を入力して下さい。PDF データが表示されます。</p> |
| (4) 講義の視聴 | <p>講義視聴画面の講義名のタイトルをクリックし、視聴を開始して下さい。</p> <p>※視聴および資料ダウンロード期間は、2015 年 7 月 9 日～2015 年 11 月 30 日です。なお、動画のダウンロードはできませんのでご了承下さい。</p> |

12. 前期の講座内容

オリエンテーションを含む全 20 科目の受講（視聴）と、オリエンテーション・ラップアップを除く 18 コマのレポート提出（Word ファイルを E-mail 添付にて提出）が、前期修了試験の受験資格となり、修了試験に合格することが、前期講座修了要件となります。※講義視聴履歴の管理、及び責任は受講者各自に委ねられます。

13. 前期修了試験

＜乳がん体験者コーディネーター前期修了試験概要＞

この修了試験は、「科学的根拠に基づく医療情報」、「信頼性の高い医療情報」にアクセスし、回答を得る能力を確認する試験です。インターネット環境で、ご自宅での受験が可能です。

- 試験期間： テスト配信日時：2015年12月4日（金）正午～12月6日（日）正午
 解答提出期限：2015年12月6日（日）正午まで
- 合否判定： 本試験の合否基準は、「科学的根拠に基づく医療情報」、「信頼性の高い医療情報」にアクセスし、回答を得る能力のみであり、受験者間での相対評価、事前の合格者数の設定は行なっていません。また、合否に関する個別の問い合わせ、合否基準に関する問い合わせには対応致しません。
- 修了証： 試験合格者には、乳がん体験者コーディネーター前期プログラム修了証を発行致します。なお、試験不合格で、再受験を希望する場合は、次クール（12期）以降の受験（受験料¥5,000）が可能です。合否発表は、2015年12月14日（月）を予定しています。

14. 後期講座の内容

乳がん体験者コーディネーター養成講座（前期）修了者は、前期で習得した系統的知識、乳がん医療情報の扱いを実践に活かすための演習を主眼とした養成講座（後期）の受講資格を得ます。後期プログラム修了者をNPO 法人キャンサーネットジャパン認定乳がん体験者コーディネーターとし、認定証を発行します。

後期講座は、2016年1月～3月の開催を予定しており、詳細は2015年11月頃に受講生にお知らせいたします。後期プログラムは、下記を予定しています。

- | | |
|---------------------|--|
| （1）Web 講義 | ①がん医療を取り巻く各職種とBECに期待される役割、Must do 5、Must not do 5
②患者支援と法律
③コミュニケーション・スキル |
| <hr/> | |
| （2）ケーススタディ・ロールプレイ | 各1回、同日午前・午後に実施。個別スケジュール調整にて、東京・大阪での開催を予定しています。5～8名程度の少人数で実施。平日・土日含む数日の候補日を設定し、調整します。 |
| <hr/> | |
| （3）全体発表・修了式（東京での開催） | 講座（前期・後期）受講を振り返り、全体を通じて学んだこと、反省点、要望点などに加え、今後の活動の展望について、各自5分程度の発表を行い、全員で学びをシェアリングします。2016年3月中旬を予定しています。 |

注：

(2)の開催地については、東京・大阪以外にも、受講生が5名前後集まる事が可能な場所（開催地）が調整できる場合、地方での開催も考慮致します。第6期では、相良病院（鹿児島）様（<http://www.sagara.or.jp/index.html>）の申し出を受け、同病院での出張後期プログラム開催をいたしました。開催場所の提供を考慮頂ける方・病院・クリニック様については、CNJ事務局 BEC 問合せ先（cinbec@cancernet.jp）までお知らせ下さい。

15. 乳がん体験者コーディネーター認定までの流れ

■養成講座（前期）

- (1) 全 20 講義の視聴とレポート提出
 - (2) 前期修了試験受験
- 合格→ 養成講座前期修了（修了証を発行）
 ※試験不合格の場合は、次クール（12 期以降）
 で再受験可能（別途受験料がかかります）



■養成講座（後期）

- (1) 全 3 講義の視聴とレポート提出
 - (2) ケーススタディ・ロールプレイ（1 日、対面）
 - (3) 全体発表・修了式
- 認定乳がん体験者コーディネーターとして登録

※後期講座に進んでいただいた方でも、キャンサーネットジャパンが BEC としてその素養に相応しくないと判断した方は、認定しない場合があります。その場合、後期講座の受講料は返金いたします。

16. 認定後の各種手続きと認定継続要件等

認定者のうち希望する方は、NPO 法人キャンサーネットジャパン事務局内「BEC/CIN 認定継続フォローアップ委員会」に登録頂きます。登録時より 3 年間の管理登録料として、登録時に 15,000 円を申し受けます。

当委員会は、認定者の認定継続と質の管理、フォローアップのための研修・情報発信等を行います。認定は 3 年間の更新制となり、下記、＜認定継続に必要なポイントの内容について＞に定める認定継続要件である 15 ポイント以上の活動を必須とします。認定者の継続学習や認定継続に関する窓口は、全てこの委員会が行います。

4 年目以降の認定継続についても、上記と同様の条件にて 3 年毎の更新とします。更新時には 15,000 円の更新料を申し受けます。

＜認定継続に必要なポイントの内容について＞

認定を更新するための条件である更新ポイントは 15 ポイントです。（以下ポイントを P と略す）

1. 継続学習の機会への参加

- * CNJ が主催・共催・後援するイベント 2P
- * CNJ が認めるがん関連学会 3P
- * 科学的根拠に基づき、情報発信しているセミナー・シンポジウムへの参加 1P

（ご報告内容に基づき、ポイント対象から除外させていただく場合もありますので、ご不明な場合は事前にお問い合わせ下さい。）

2. 相談活動に従事 3P

3. 講演等の啓発活動 3P

4. 啓発・支援活動の企画・実施 2P

5. CIN/BEC 養成講座受講 15P

なお、更新に必要なポイントとして、CNJ のビデオライブラリー <http://www.cancernet.jp/video> の視聴も 1P となります。

17. 認定後の活動

本養成講座を受講され、修了・認定された方々は、ご自身の仕事の中で、またはボランティア活動や患者会活動において、本プログラムで習得されたがん医療情報の基本的知識、最新の情報へのアクセスのスキル等を活用頂いております。

更に、NPO 法人キャンサーネットジャパンが企画・運営する各種セミナー・プログラム（「CNJ がん情報ステーション」、「CNJ がん医療セミナー」、「外部研修プログラム」など）、また、病院内外でのピアサポーターとして活躍されているほか、民間企業、自治体等によるがん医療啓発活動での講演などでも活躍されています。ただし、本講座では認定後の職業の保証はいたしません。

第11期生乳がん体験者コーディネーター養成講座（前期）カリキュラム

※担当講師は変更される場合があります。変更の際はホームページ等で案内致します※

講義	公開日時	講義時間	科目	11期担当講師
1	7月9日 (木)	40	BEC 養成講座オリエンテーション	川上 祥子 (NPO法人キャンサーネットジャパン)
2		60	生物統計と臨床試験、EBM、診療ガイドラインについて	後藤 悌 (国立がん研究センター)
3	7月23日 (木)	60	乳がんの原因と予防	岩崎 基 (国立がん研究センター)
4		60	乳がん検診と診断の進め方	岩瀬 拓士 (がん研有明病院)
5	8月6日 (木)	60	乳がんと診断されたら・初期治療を受けるにあたって	土井 卓子 (湘南記念病院)
6		60	乳がんの病理	堀井 理絵 (がん研有明病院)
7	8月20日 (木)	60	乳がんの手術	津川 浩一郎 (聖マリアンナ医科大学)
8		60	乳房の再建	関堂 充 (筑波大学)
9	9月3日 (木)	60	乳がんの薬物療法①～術前・術後薬物療法～	大野 真司 (がん研有明病院)
10		60	乳がんの薬物療法②～転移性乳癌薬物療法～	高野 利実 (虎の門病院)
11	9月17日 (木)	60	乳がんの放射線治療	吉村 亮一 (東京医科歯科大学)
12		60	初期治療後の診察と検査 / 転移・再発	佐々木 康綱 (昭和大学)
13	10月1日 (木)	60	がん医療におけるサイコオンコロジーとは？	明智 龍男 (名古屋市立大学)
14		60	がん医療における緩和ケア (主として疼痛緩和)	田中 桂子 (都立駒込病院)
15	10月15日 (木)	60	がんの補完代替医療・健康食品	大野 智 (早稲田大学)
16		60	若年者の乳がん (妊孕性含)	清水 千佳子 (国立がん研究センター)
17	10月29日 (木)	60	遺伝性乳がん	山内 英子 (聖路加国際病院)
18		60	患者支援のさまざまな資源	渡邊 知映 (上智大学)
19	11月12日 (木)	60	BEC 養成講座 (前期) 総括講義： 知っておくべき乳がんの知識	中村 清吾 (昭和大学)
20		60	前期プログラムラップアップ	川上 祥子 (NPO法人キャンサーネットジャパン)

第11期生乳がん体験者コーディネーター養成講座スケジュール

